



市民ネットワーク・ふなばし

みやけ けいこ

三宅桂子の議会報告

e-mail:siminnet.funabashi@ninus.ocn.ne.jp
http://funabashinet.jp

2015年11月発行 第16号

contents

*平成 27 年第 3 回定例会(8/25 ~ 10/16)質問より P1~3

- 平成 26 年度決算特別委員会から
 - ①保育士が足りない!
 - ②全小学校にスクールカウンセラーを配置して
- 滞納の裏に隠れた福祉の必要性

*平成 26 年度決算 P2

*意見書案を提出しました P2

*三宅桂子視察報告 P3

*戦争法制に反対! ~あきらめない~ P4

*マイナンバー、個人番号カードの申請はしないで! P4



次回定例会
11/16 (月)~12/18 (金)
傍聴においでください

平成26年度決算特別委員会から①
保育士が足りない!

定員は空いているのに

これまで船橋市の保育園では、ゆとりのある独自の面積基準を採用してきました。しかし、全国ワースト2の状況にある待機児解消のため、面積基準を国並みに引き下げることになりました。せっかく守ってきた良好な保育環境が後退することとは残念ですが、これにより、公立保育園の定員が778人分増えることとなりました。

ところが、保育士が足りないために288人が入所できないという事態が起きてしまいました。市北部の小室保育園では定員に37人の空きがあるにもかかわらず、保育士不足で入所できなかった子どもが7人いました。周辺には私立保育園がないため、親は都内まで満員

船橋市議会の議会改革が進んでいます。開会時間が13時から10時からになり、定例会閉会后に行われていた決算特別委員会を会期中に開催しました。これにより審議内容を予算に反映することができ、合理的な議会運営となりました。

厳しい労働環境

の電車に乗り親子連れで通勤しています。毎日の生活が親子にとって大きな負担であることは間違いありません。

市では公立保育園の正規保育士を、毎年ほぼ退職数の20名採用していましたが、今年度は人数を増やし30名採用しました。しかし、これでも足りず、非正規雇用や臨時的任用の保育士で補ってきたのが実態です。ほぼ同じ仕事をしていながら年収は正規職員の半分以下です。少しでも時給の高い自治体へと移っていく例もありました。

保育士は子どもの命を預かる仕事でありながら、他の業種と比較して年収ベースで100万円も報酬が低いといわれています。介護士同様、働く人の善意によって成り立っている職業といっても過言ではありません。

船橋は子育てしやすい?

船橋では子育て世代の流入が増